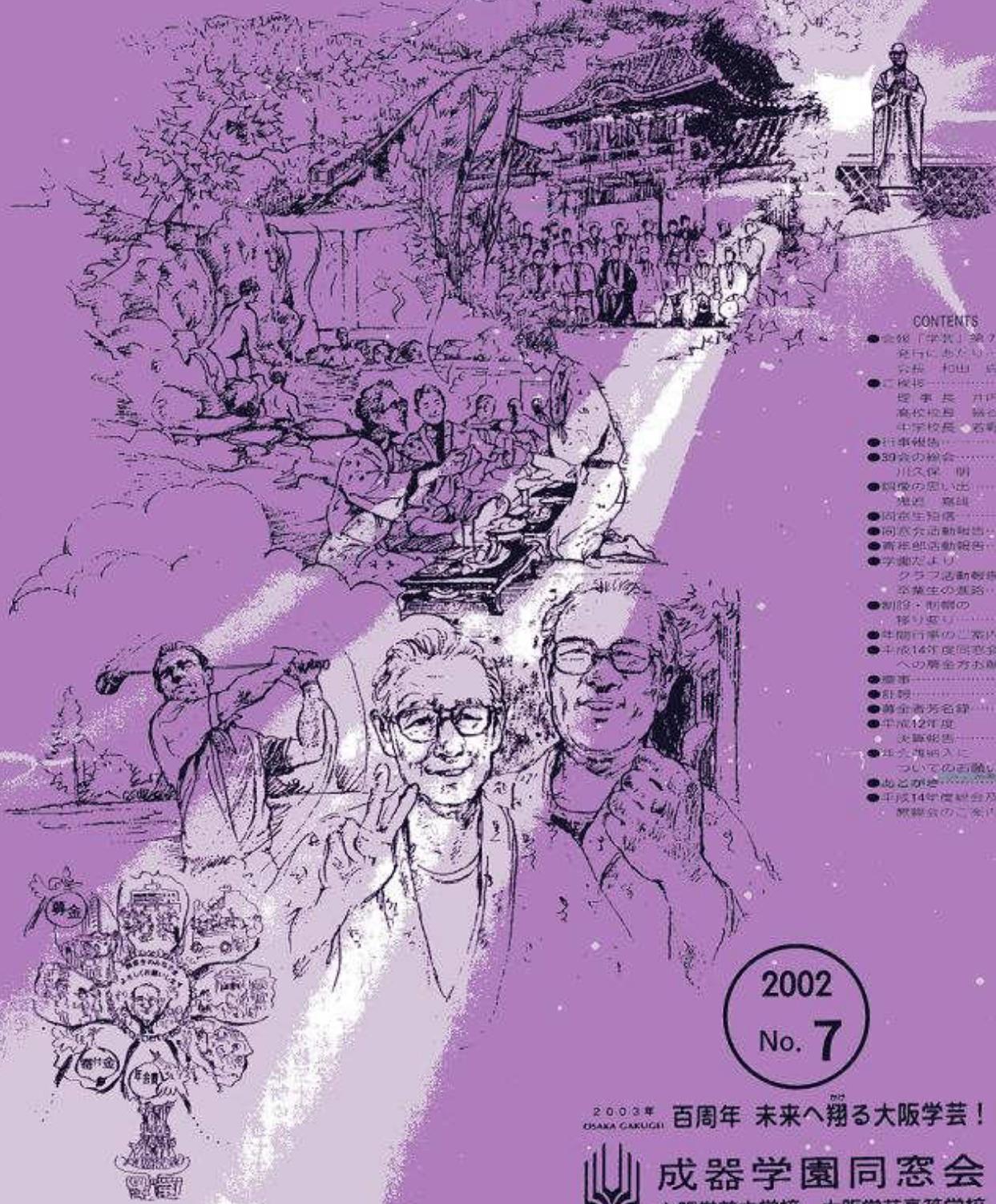


学芸



CONTENTS

- 会報「学芸」第7号
発行にあたり 2
- 会長 和田 真次 2
- ご挨拶 2
- 理事長 井内博樹
高校校長 鈴谷安宏
中学校長 若野勝夫 2
- 行事報告 3
- 39会の総会 6
- 川久保 明 6
- 講演の思い出 6
- 鬼頭 駿輔 6
- 同窓生懇親 6
- 同窓会活動報告 8
- 青年部活動報告 8
- 学園だより 10
- クラブ活動報告 10
- 卒業生の進路 10
- 創設・創郷の
移り変り 11
- 仲間行事の二幕内 11
- 平成14年度同窓会
への賛金をお願い 12
- 理事会 12
- 紅葉 12
- 尊金者芳名録 13
- 平成12年度
実績報告 14
- 年次賛金入り
についてのお願い 15
- 歎詞 15
- 平成14年度総会及び
懇親会のご案内 16

2002

No. 7

2003年 百周年 未来へ翔る大阪学芸！



成器学園同窓会

大阪学芸中学校 大阪学芸高等学校

会報学芸第七号発行にあたり

同窓会会長 和田貞夫



(プロフィール・大阪学芸部開1部39期・昭和19年卒業)
元衆議院議員・通産政務次官・厚生委員長
協同組合大阪中小企業経営センター理事長

明治十五年（一九〇二年）には母校の創立百周年を迎えることになりました。校祖遠藤三吉先生が明治三十六年（一九〇三年）六月に大阪市浪速区貝塚町（後に馬場町と改称）の地に成器商業学校を創設されました。

百年という記念すべき日を迎えることになりました。この間明治・大正・昭和・平成と四時代に亘り、約三万名の卒業生を輩出し、遠藤先生の教えは今もなお受け継がれ、その卒業生たちは政界・官界・経済界・労働界・宗教界・芸能界等でそれぞれ活躍をされ、幾多の功績を残されてきました。それが“遠藤精神”であり“成器魂”的な継承ではないでしょうか。

昨年九月十一日にアメリカのワシントン、ニューヨークで国防総省と経済の中核ビルに同時テロ事件が発生し、罪のない多くの一般市民も犠牲にしました。このようなテロ行為は断じてゆることはできません。

佛教の教えに「受けた恨みに報復しても、恨みの連鎖は絶ち切れない」という言葉がありますが、米英両国軍は十月七日にアフガニスタンのオスマニラディン氏が索いるテロ組織「アルカイダ」とこれを支援する「タリバン」に対し報復攻撃を実行し、その戦斗が長びくことから多くの一般市民にも犠牲者を出すに至っています。タリバン政権は遂に首都カブールを放棄し、タリバンの拠点カンダハルも明け渡そうとしていますが、タリバンの指導者オマル師も、アルカイダの統帥者ウサマビンラディン氏も捕らえることもできず、一年を越すことになるでしょう。長びく戦争は世界経済を悪化させることになります。アメリカの経済は大きく後退し、失業率も

五、七%に達しています。わが国の経済もまたないのが現状ではないかと思います。

一日も早く戦争の終結を願つて止みません。

そのことはさておき、母校の創立百周年を迎えるにあたり、学園側も同窓会もPTAも共同して歴史に残る百周年記念事業の各行事を積極的に取り組んでゆかなくてはならないと考えます。そのためにも同窓会のより強化発展は卒業生にとって大きな課題だと存じます。自分たちの学んだ母校が百才になつたという喜びを卒業生共通の喜びとして分ち合いたいと思うからです。残念ながら同窓会の実態は平成13年度の年会費納入者は四百四十六名に過ぎないので、そのため同窓会に若い力を注入しようとの考え方から昨年青年部を立ち上げ活動を願っているところであり、近い将来はこれらの方々に同窓会を専門的で戴きたいと思っている所です。

同窓会の皆様には常日頃から学園発展のため惜しみないご支援ご協力を賜っておりますことに先ずもって感謝申し上げ厚くお礼を申しあげます。早いもので私が理事長に就任して以来一年八ヵ月（平成十三年十二月現在）が経過しました。この間の学園の状況及び今後取組むべき課題につきご報告を申し上げます。



理事長

井内博見



同窓会の皆様には常日頃から学園発展のため惜しみないご支援ご協力を賜っておりますことに先ずもって感謝申し上げ厚くお礼を申しあげます。早いもので私が理事長に就任して以来一年八ヵ月（平成十三年十二月現在）が経過しました。この間の学園の状況及び今後取組むべき課題につきご報告を申し上げます。

先ず第一に昨年の会報第六号においても触れたが学校法人名を「学校法人成器学園」から「学校法人大阪学芸」に平成十三年一月一日付をもって予定通り変更しました。二十世紀の初頭に当り、この新世紀を遅しく生き続けていくため、新規に目標として掲げられる場合には是非同窓会本部にご一報いただきたく存じます。出来得れば役員を派遣して学園の現状や同窓会活動の報告をさせて戴きます。

第三に生徒募集状況について述べます。

平成十三年五月一日現在の在校生は千六百三十二名（全生徒数の約三十六%）三年制高校

在学生は千四十八名（全生徒数の六十四%）となつており、全生徒数の中に占める女子生徒数は二百八十九名（全生徒数の十七・七%）となりています。特に六年制に在籍する女子生徒数は百七十七名で六年制生徒全体の約三十%に達しています。

平成十三年度の入学者は三年制高校で四百十一名、募集定員三百六十名を五十一名上回りました。そのうち女子生徒の入学者が六十六名に過ぎないのです。そのため同窓会に若い力を取り入れようとの考え方から昨年青年部を立ち上げ活動を願っているところであり、近い将来はこれらの方々に同窓会を専門的で戴きたいと思っている所です。

同窓会の更なる強化のため、「同期会」「クラス会」「地域・職域の同窓会」等を開催さ

れる場合には是非同窓会本部にご一報いただ

きたい存じます。出来得れば役員を派遣して

学園の現状や同窓会活動の報告をさせて戴き

たいと思っています。是非ご協力の程お願い致します。

学園の発展は卒業生（同窓会）の力による

ところが大きいと思います。今年は平成八年

（一九九六年）に校名を大阪学芸高等学校

中学校に改称し、中高六年の一貫教育によ

る進学校への転身をはかつてからはじめての卒

業生が生れる年です。学園の役員、教職員、卒

業生が一体となって力を出し合い、在校生

のご父兄（PTA）のご協力をいたたくこと

によつてのみ学園の発展があるものと信じます。明平成十五年（一九〇二年）の百周年記念行事を成功させるため学園では「記念基金」を充実する必要に迫られ、基金募金委員会の委員長を先頭にして募金活動に取り組んでいただいています。この機会に同窓会のみなさまにも積極的なご協力をお願いしたいと思います。今年こそみなさまにとって良いお年でありますようお祈り致します。

第三に生徒募集状況について述べます。平成十三年五月一日現在の在校生は千六百三十二名（全生徒数の約三十六%）三年制高校

在学生は千四十八名（全生徒数の六十四%）となつており、全生徒数の中に占める女子生

徒数は二百八十九名（全生徒数の十七・七%）となりています。特に六年制に在籍する女子

生徒数は百七十七名で六年制生徒全体の約三十%に達しています。

平成十三年度の入学者は三年制高校で四百十一名、募集定員三百六十名を五十一名上回

りました。中高一貫六年制の在校生は五百八

十二名（全生徒数の約三十六%）三年制高校

在学生は千四十八名（全生徒数の六十四%）となつており、全生徒数の中に占める女子生

徒数は二百八十九名（全生徒数の十七・七%）となりています。特に六年制に在籍する女子

生徒数は百七十七名で六年制生徒全体の約三十%に達しています。

第三に生徒募集状況について述べます。平

成十三年五月一日現在の在校生は千六百三十二名（全生徒数の約三十六%）三年制高校

在学生は千四十八名（全生徒数の六十四%）となつており、全生徒数の中に占める女子生

徒数は二百八十九名（全生徒数の十七・七%）となりています。特に六年制に在籍する女子

生徒数は百七十七名で六年制生徒全体の約三十%に達しています。

第三に生徒募集状況について述べます。

第三に生徒募集状況について述べます

ト及び駐車駐輪場は七月十日に竣工し運用を開始しています。これで体育施設及び駐輪場不足の悩みが解消されました。

最後に本校の今後の課題について所見を申

その一は本校財政基盤の確立であります。

和学の經營の大蔵府からの経営資金補助金により、辛うして收支をバランスさせていますがが、府の財政悪化からこの補助金の削減が不可避免の状況になってきています。平成十三年年度は昨年度実績に対し原則九割の交付となる見込みで経常収支の減収が懸念されるところであります。欧米の学校では卒業生をはじめ多くの市民からの寄付を得て、財政の運営が行われているとききます。

本文でより乍ら、本年度の資金活動を行つ

ており今まで約二千七百万円のご協力を賜つてあります。が、更なるご支援ご協力を切にお願いするものであります。

その二是生徒募集をしつかりやる必要があります。一定数の生徒を確保しなければ私学の経営はなりたしません。幸い本校は平成十三年度において、中高六年制、三年制高校共に定員を上回る生徒がきてくれました。

今年度（平成十四年）の入試説明会や体験入学会等は既に始まっていますが、本校への保護者の関心度は高く毎回の説明会において予想を上回る出席を得ており、平成十四年の生徒募集においても好結果をもたらしてくれるものと期待しています。その背景として公立中学における「ゆとり教育」の推進、週休五日制への移行から学習時間が三割削減されることに対する保護者の不安感、（高校は二〇〇三年と一年遅れで実施される予定）から対応策をとりたいという気持があろうかと思われますが、それに加えて本校には熱意のある良い先生が多くおられること、生徒にしっかりとした学力をつけてくれることといった良い評判が出てきているためと思われます。

進学実績を挙げることが手っ取り早い方策でしようが、その前に学校の原点は人間教育にあるとの観点から人間性豊かなバランスのとれた人格を作ることが何よりも肝要であると考えています。その原点を忘れずに着々と進学実績を挙げていくことが求められます。その三は教育施設の整備充実です。



高 等 學 校 校 長
(二 年 課 程)

鍋谷安宏

既に相当の設備を保有していますが、本校では現在過去最多の学級数である四十五クラスになっています。教室の余裕はそうありますせん。中高六年制が一年学年四クラスで二十四教室、三年制高校が一年学年十クラスとして三十教室、合計五十四教室ともなれば教室が不足する事態になります。ただちにはそのようになりますが検討課題ではあります。

以上以下の課題を申し述べましたが変化の激しい時代ですから、どのような課題が飛び出してくるかわかりません。どんな課題が飛び出てきても弾力的に適時適切に対応し、本校の更なる発展を計つていかねばならないと考えておりますので引き続き同窓生諸氏の温いご指導ご支援をお願い申し上げます。

お喜び申し上げます。

大阪学芸高等学校は、旧制成器商業学校創立以来数えて九十九年目を迎え、益々意氣盛んでございます。生徒は先輩方の時代に一步も引けをとらないという自覚を持って、文武両道の達成に向けて精進を続けております。この一年間を振り返りますと、歴史に刻るべき事柄が幾つもございましたが、中でも特筆すべきはスポーツコート・駐輪場を設置し、本校生徒の教育環境が躍進的に向上しました。他校の生徒が羨む程のユニークな美しい校舎で、快適な学習環境の下、勉学に励むことのできる本校生徒は幸せ者でございます。私たち教職員も大きな愛情を生徒に注ぎながら、全靈を込めて教育に邁進する所存でござります。その他の主な取り組みをご紹介申し上げます。

ものになっています。
年度途中に変更することがいくつかあります。
したが教育活動は軌道にのつて成果が目立つ
てきていて、我々教職員が力を合わせて、
卒業生・保護者の方々の期待に応える教育を
展開して行くことができるものと確信してお
ります。

インターハイ・国体出場、全国選抜大会五年連続出場表彰受賞、大阪府私学総体総合優勝(三年連続)二連覇達成特別表彰受賞、女子の部・大阪府新人大会団体形優勝、団体組手準優勝により近畿大会出場、吹奏楽部は御堂筋パレードに第一回より十四年連続出演、大阪府吹奏楽コンクール予選を通過、本選に出演して銀賞を受賞、バレーボール部・テニス部も女子チームが大会に出場するなど活発な部

いては、とても人気が高まっています。
教育活動の重点目標を①人権の尊重②
礼儀・清掃③授業の充実④進路の保障
(獲得)と定め、四つの目標達成に全力をあげています。教育内容も一新、進学講習に努力をいれ本校がを目指す大目標、進学校(開闢同立合格者一〇〇名以上)になることにむけ、全教職員一致協力して熱心に頑張っています。クラブの活動状況は、男子のサッカーチーム

望二九二名、専門学校二六名、就職三名で太
学合格状況は国公立大学一〇、関莫同立四〇
産近甲龍六三。さらに理事会中心に進学効率
を高めるため平成十二年四月より進学コース
と特進コースの二つにわたる機構改革を実施
しました。両コースに教頭をおき、特進コー
スは中谷教頭を中心に主に難関私立大学への
進学をめざし、進学コースは山田教頭を中心
に産近甲龍など有名私立大学への進学をめざ
しています。また国公立大学受験志願者に
も数学の選択授業や特別講習を実施すること
によって五教科型受験に備えています。両コー
ス共に切磋琢磨して発展してまいりました。
機構改革の成功が良い評判を呼び、入試説明
会などは大変盛況であります。特に女子につ



中学校 校長

若野房夫

徒に対してはより一層の学力をつけさせため学年を越えての授業を行っています。また行事は大きく学校主催の体育祭、音楽祭(13年度は会場を外部で実施)と生徒会主催(生徒による企画、運営)の文化祭、スポーツ大会があります。その他芸術鑑賞では本物にふれさせてはいるが、春には歌舞伎、秋にはクルベ展の鑑賞を行いました。春・秋の遠足、夏の水泳教室、林間、修学旅行、スキー教室、語学研修(今年度は同時に多発テロ発生のため中止)等多彩な行事で勉強だけでなく心身ともに調和のとれた生徒の育成を図っています。また13年度より1ヶ月3年生について通常のクラブ活動とは別に週1回の必修クラブを設けた全員が何かのクラブに所属し汁を流しましたが、趣向を広げた活動をしていました。

本校への入学希望者が昨年の1.5倍あり大変評価されています。そこで私学の中でも大へん勢いのある学校だと評価されています。しかし社会状況の中、教職員一同一層の意躍をめざし頑張っています。

・スバ一特進「京大、阪大、神大、医進の現役合格を目指す」
・特進「国公立、同志社、関学、慶応、早稲田等の有名難関私大的現役合格を目指す」
・進学「関関同立等の有名私大を目指す」
教育課程もそれぞれのコースにあつたものを常に研究し大学受験に対応していきます。
飛び級制度を導入し英語、数学のできる生

行事報告

平成13年度

同窓会定期総会

懇親会が開催される



平成 13 年度 総会出席者



春季想親會

平成13年5月19日(土)午後2時より本校会議室において成器学園同窓会定期総会が開催されました。金谷道雄副会長の司会により、まず開会の挨拶が和田貞夫

会長より行われ、続いて学園より井内博見理事長が来賓挨拶をされました。その後、学事報告については3年課程を山田泰男教頭先生、6年課程を岡川啓司先生が担当され、鈴木清先生による募集対策の話も行われました。総会審議においては、米田耕作議長、寺下正浩副議長が選出され、各委員ごとに活動報告等や会計

報告が續々と進みました。本年は、特に
18才～39才の同窓会会員が中心となり同
窓会青年部を結成、活動状況、今後の抱
負等が青年部寺下正浩副会長より報告が
なされ、同窓生達からは大きなエールが
おくられました。今後の活動に大いに期
待がもてます。

が開催されました。本校吹奏楽部の演奏をバックに同窓生達の楽しい歎談が続きました。そんな楽しい雰囲気の中で同窓生達は懐かしい学園生活を思い出しながら、校歌や成器学園同窓会の歌を歌いあい、卒業生として世代を越えて大いに盛り上りました。

最後に、こんなに楽しい同窓会に参加できてよかったです。最近は多くの若手会員も増え次回の同窓会が本当に楽しみです。

平成10年卒業(大阪産業大学4回生)

「天神祭」観覧懇親会



昨年から企画しました夏の風物詩大阪天満宮の「天神まつり」船渡御を観覧し

線で会場に来やすいために参加した人、機会があれば呑んで喰って楽しもうと考えるもの、兎に角時間の経つのも忘れて楽しい一晩を過ごしました。「来年もやつてや」と声をかけ合って9時半頃にはそれぞれの帰途につきました。

ながらの懇親会を今年も7月25日(木)午後6時から大阪中央区天満橋キヤッスルホテル内の中華料理店・錦城閣で約40名



「天神祭」観覧懇親会

高野山普賢院一泊と 高野槇の湯温泉旅行



普賢院経堂前にて

副会長 金谷道雄

毎年恒例行事のひとつとして本年も八月四日(土)～五日(日)にかけて高野山一泊と高野槇の湯温泉旅行を実施した。四日、参加者それぞれが午後聖地高野山宿坊普賢院に到着した。

高野山は海拔一千メートルで周囲を山々に囲まれ、伽藍と奥の院の両壇を中心にして、総本山のほか一一七ヶ寺があり神祕な靈場を形成し密教文化の宝庫として、国の指定文化財が二〇〇点、県指定が四〇点を数えています。

今回の参加者は一七名と例年より若干少なかつた、毎年参加をして頂いている所で、迎えのバスに乗り込み、出湯の里槇の湯温泉に向った。温泉到着後人気の湯、槇の香りが立ち込める天然ラドン含有温泉大浴場で自然に包まれた優雅なひと時を皆で楽しんだ。入浴後昼食会となり昨年も好評だった地元天然の鮒の塩焼きに古鼓を打ちながら和やかな楽しいひと時と共にした。昼食後カラオケルームを貸切で、日頃の腕前を全員もれなく披露した。お互に別れを惜しみつつ又の参加を約し高野山駅にて解散した。

今年もこの旅行の企画を致しますので参加ご希望の方は同窓会事務局迄ご一報下さい。案内状を送付させて頂きます。

井内博見理事長ご夫妻、和田貞夫会長、中西晃元理事、赤井利昭PTA元会長とPTA元役員の方々、西野仁彦副会長ご夫妻、ほか有志の方と多彩な方々の参加を頂きました。

精進料理での夕食会は森寛勝師のご丁重な挨拶で始まり和やかな、和氣あいあいの雰囲気の中、お酒を酌み交わし話がはずんだ。

さすが高野山久しぶりに八月ながら都会の猛暑を忘れ布団を掛け就寝した。

翌朝、勤行のあと普賢院庭園にて森寛勝住職と共に記念撮影を行った。

このあと貸切バスにて奥の院迄直行し案内係の親切な説明を受け奥の院参詣を終えた。

そして迎えのバスに乗り込み、出湯の里槇の湯温泉に向った。温泉到着後人気の湯、槇の香りが立ち込める天然ラドン含有温泉大浴場で自然に包まれた優雅なひと時を皆で楽しんだ。入浴後昼食会となり昨年も好評だった地元天然の鮒の塩焼きに古鼓を打ちながら和やかな楽しいひと時を共にした。昼食後カラオケルームを貸切で、日頃の腕前を全員もれなく披露した。お互に別れを惜しみつつ又の参加を約し高野山駅にて解散した。

今年もこの旅行の企画を致しますので参加ご希望の方は同窓会事務局迄ご一報下さい。案内状を送付させて頂きます。

新世紀最初の 秋季懇親会

副会長 米田耕作

平成13年度秋季成器学園同窓会懇親会が、11月17日(土)の午後6時より千日前のニューミュンヘン大使館で開催されました。昨年より10名少ない51名の参加者で、その内訳はご来賓2名、理事・教職員が6名、会員43名(青年部7名含む)でした。

開会が5分遅れましたが、和田会長の挨拶に続き井内理事長の挨拶、そして鍋谷校長先生の学事報告の辺りで、時間修復ができました。(進行係りの要望に応え、簡潔なスピーチに感謝致します。)

退席されようとする校長先生に舞台に留まって頂き、急遽知った慶事(大阪府知事から「私学教育功労賞」の授与)に対して会長から記念品の贈呈をするのもスマーズでした。ご来賓の紹介(元PTA山中会長・西田副会長)後、代表した山中正美氏に挨拶を頂き、直ぐに記念写真撮影を済ませました。前回の写真は会報誌に間に合わず不採用でしたが、今回こそいい写真を載せようと、2つのカメラで5枚も撮りました。

グラスに並々とビールが注ぎ込まれ、いよいよ懇親会の始まりです。宴会のテー

ブカットとも言える乾杯の音頭は足立前理事長がされ、見る見るうちにどの席にも泡の口髭が出来ました。ここで司会者が交替し、盛り上げ名人の金谷副会長が名調子で進行をリードします。アトラクションは同窓会専属?コロンビアレコード所属の林田麻友子さんで、司会の紹介とイントロメロディーで喝采の中登場し懇親人を魅了しました。カラオケでもデュエットに応じて頂いたり、大いに盛り上がり行きました。

同窓会の歌、新旧校歌と続いた後、仲西前理事の万歳三唱そして田仲副会長の閉会の挨拶で新世紀最初の秋季懇親会も無事閉幕となりました。



秋季懇親会参加者

咲き誇る母校の 百周年と先細る39会

成器39会会长 川久保 明

第5回成器39会同窓会を、平成13年7月7日(土)の午後6時30分から難波道頓堀ホテルで開催致しました。本会は昭和39年卒業高校16期卒業生(6学級311名)の同期同窓会で、39から成器サンキュー会と称し、隔年毎開催しております。



第5回成器39会同窓会出席者

卒業し40年近く経過しますと住所不明者も多く、丁度100名を数えます。そして物故者も17名になり、担任教師も6名の内2名(竹内・豊島)の先生方が亡くなられており歳月の過ぎる速さと無情さを感じています。また健在者29名の内住所判明者が194名であり、第1回から第5回までに参加した者は86名います。残る108名の同期生に1人でも多く参加して貰おうと、今回は会費をぎりぎり押さえご案内致しましたが、それでも不況の嵐に勝てませんでした。会員28名は本会始まつて最低の参加者数であり、ご来賓と恩師2名を加えて30名しかなりません。そんな中、恩師久米先生と同窓会和田会長のご挨拶が始まった訳ですが、宴も進みカラオケに入る頃は和気藹々とした雰囲気で、思い出話に華を咲かせました。少人数ならではの盛り上がり方もあるもので、4つの円卓をビール片手に行き交う者も少なくありませんでした。恩師並びに大先輩は人を引き付ける魅力と活力を

兼備しておられ、会を大いに盛り上げて下さいました。一言お礼申し上げます。

今回の参加者が減少した理由として考えられるのは、バブル崩壊後の不況で会社の倒産やリストラによる離職者や、病気で他界した者が多くいた事が上げられます。若くして亡くなられた藤原君、松下君そして林君のご冥福をお祈りします。

39会は学園同窓会と違い、確実に減少し消滅する運命にあります。学園同窓会は母校と卒業生が続く限り永遠に不滅であり、この先も母校と共に歩んで行くでしょう。本会は同期生の懇親が第一の目的ですが母校愛を堅持し、学園同窓会を盛り立て協力することを忘れておりません。

大樹の小枝の一葉として、枯れ落ちるまで頑張り微力ながら創立100周年を支援し、母校を見守って行きたいと思います。

銅像の思い出

一部三九期生

鬼追嘉雄

昭和十八年五年生の時でした。五月だったと思いませんが、その時十日間の予定で大阪桜島の軍需工場へ勤労奉仕に行って

居りました。受持の大矢寅太郎先生が私

と南田信雄君だったと思いませんが明日は

工場へ来なくて良いから学校へ八時に行

く様に云われた。理由は云われなかつた。

军需工場へは朝五時に起きねばならぬ

いけれど学校なら一時間遅くてすむそれが嬉しい。当時学校の校庭には、創立者

遠藤三吉校長と七生報國と大書された大

楠公の銅像と二つあった。翌日学校へ行くと遠藤校長の銅像は取り外されて横た

へられてその横に大八車が置いてある。

組から二人づつ六人が集っていると坂井

先生が来られて遠藤先生の銅像は供出のため四天王寺まで運ぶとのこと。私は河内での生れだから荷車の扱いは知つてゐるうと指名されたのだと思う。銅像を荒縄でしばり大國町、恵美須町、武徳殿を右に見て途阪の長い坂を前で引き後から押すを交代で繰り返しながら登りつめお寺に着いた。

兵器製造用の鉄を軍の命令で供出と云う名のもとで強制的に家庭用の生花の水盤からお寺の釣鐘に至るまで回収され始めていた。すでに釣鐘がいくつか積上げ

られておりその横に並べ置いた、武士道の象徴「楠木正成」の銅像は供出を免れた。そんなきびしい時代とは云へ銅像に對し全校生によるお別れの行事もその説明もないまま鉄屑として処理されたことは成器百年の歴史に誠に淋しい出来事であつたことに間違ひない。

同窓生短信

近況報告

(平成6年3月卒業) 豊田 純誠

成器(現大阪学芸)高校を卒業して6年がたちました。振り返ってみると、学生生活や詩吟部での思い出などが懐かしく思われます。

現在私は外資系製薬会社に勤務し、医薬情報担当者(MR)という職種についております。仕事の内容は、病院、開業医、薬局の先生方に、医薬品の普及と医薬品の適正な使用情報を提供し、チーム医療の一端を担い、医療に貢献していくものです。

社会人になって感じたのですが、当時詩吟部顧問で現校長の鍋谷先生、松田(邦)先生をはじめとする担任の先生方、多くの先生方や諸先輩方のご教示が、今の私の社会人生をささえている、大きなよりどころになっていることに疑いの余地はありません。成器高校だからこそそれらのことが学べたのではないかと確信しております。現在入社3年目で未熟者ですが、諸先輩方のご指導のもと、ご教示いただいたことを活かして、さらなる飛躍を目指していきたいと考えております。

(平成12年卒業) 近畿大学二回生

安藤崇

大学に進学し少しはゆっくりと過せるかな

と思っていましたが詩吟部にも入部し、毎日を忙しく過ごしております。

(高校40期・昭和63年卒業)

上 田 满

高校時代に手に職をつけたいと思い、あべの辻調理師専門学校で料理を学びました！卒業して中国料理のコックとして10年間やつきました。今は両親が経営する健康食品の会社でがんばっています。高血圧、成人病で悩んでいる人、一度会社をのぞいてみませんか？相談にのります。

(高普49期・平成9年卒業)

伊 東 智 範

い 一年生としてこの学校（大阪学園）に入学したのは平成9年（一九九七年）のことでした。
と 当時は剣道、水泳等いろいろなスポーツに励んでいましたが、今は大学でボランティア系統（手話・点字）に興味を持つようになり勉強をしていて、将来もそれらを活用した仕事に就くことを考へるようになりました。
う 嫉しいことや悲しいこと、さまざまなおとを障害の人たちと分かりあえるのが最近は喜びになつていいのがよく分かるんです。
と 特別意識をしなかったわけではなく機会と場所がなかつただけなんです。
も もしも自分の身の回りの人間が：とずつと考えていたのでこの大学（大阪経済法科大学）に入学できてよかったです。
の のんびりと大学で勉強し、手話・点字など活用できたらと思っています。
り 理解のある人たちに開まれて僕は20年間生きてきました。そしてこれからも生きていくでしょう。

同窓会活動報告

会計 井原 靖一
監査 本田 重彦

百周年にあたり学園への寄付金額について
て終結審議 28名参加
平成13年7月25日 6時

天神祭り観覧会

於、キャッスルホテル錦城閣 35名参加
平成13年8月4日～5日

高野山参拝一泊と高野根の湯温泉旅行

参加者17名

(7) 議事

① 役員・委員会人事について

会長 和田 貞夫

② 終身年会費を入会金に変更の件

会長 和田 貞夫

③ 特別年会費を年会費に変更の件

会長 和田 貞夫

④ 右記変更に伴い規約改正の件

会長 和田 貞夫

⑤ 平成13年度行事計画予定（案）

副会長 西野 仁彦

⑥ 平成13年度予算（案）

会計 井原 靖一

⑦ その他

閉会の挨拶 副会長 田仲 弘義

⑧ 閉会の挨拶 副会長 田仲 弘義

以上46名参加

(1) 懇親会

於、長居パークホテル

① 閉会式会場

副会長 金谷 道雄

② 会長挨拶 会長 和田 貞夫

③ 來賓挨拶 理事長 井内 博見

④ 乾杯

懇親会

⑤ 吹奏楽部演奏

交歓

校歌合唱

同窓会の歌合唱

⑥ 万歳三唱

中締め

閉会の挨拶 副会長 米田 耕作

顧問 道壁 長夫

第2回会報作成委員会

於、本校会議室

平成13年11月17日(土) 6時

於、ニューミュンヘン大使館

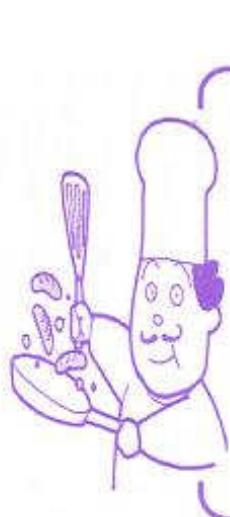
秋季懇親会 57名参加

平成13年12月21日(金) 5時

忘年会 於、みどり

20名参加

青年部学食ツアーリポート



キャンプ＆バーベキュー

私達、青年部は、平成13年8月25日～26日にかけて、大阪府の岩湧寺キャンプ場で、夏の最後の思い出として、キャンプとバーベキューを実施しました。大阪を出たころには暑かったです

が、現地のキャンプ場につけば、非常に涼しくすごせたと思います。来年も青年部では、キャンプとバーベキューを実施する予定でいますので、次回は、卒業生の皆様や結婚なさっている先輩方も、ご家族と一緒に参加していただければ、どんなに楽しいことかと思います。夏の

13年6月9日に同窓会青年部初のイベントである学食ツアーリポートを行いました。この企画はまだ学生であった頃によく通った学食をもう一度食べたい、という希望から始まりました。

この企画に参加された方は、15名程来て下さって、一応成功したという形ではあります。ただ、この日の学校の都合が悪く、食べていたメニューから注文することができませんでした。この日はお弁当を作つてもらつたのですが、場所や雰囲気には満足できただけれど味はやはり学生だった頃食べていたもの食べたかったです。次のツアーリポートではぜひ満足させてあげたいと思います。

青年部 雑 谷 满

(平成12年卒)



キャンプとバーベキュー参加者

最後の思い出の一ページとして、日頃の疲れを取るために、マイナスイオンをあびるために、ぜひとも、次回のキャンプとバーベキューへぜひともご参加下さい。

青年部 中川恭孝
(平成10年卒)



同窓会青年部 秋季懇親会

第1回秋季懇親会

同窓会青年部

中川恭孝
(平成10年卒)

参加人数：56名

開催日時：10月27日(土)
場所：総会ホール
懇親会 食堂

同窓会青年部第1回秋季懇親会を開催するにあたりまして同窓会本部、伊丹名誉会長はじめ同窓会幹部の先輩方には多大なるご支援を賜りまして心より感謝申上げます。本当に有り難う御座いました。

来年は学校創立百周年を向かえる歴史のある我が母校の発展にすこしでも役立てるようにならんがりたいと思ひます。

青年部副部長 北村裕次
(昭和63年卒)



来年は百周年記念号(第8号)となります。ご寄稿やアイデア等ございましたらどうぞお問い合わせください。学(まなぶ)くんも待っています。

平成13年 同窓会青

活動

青年部第一回 ゴルフコンペ



同窓会青年部設立記念第一回ゴルフコンペを開催するにあたりまして、同窓会本部、井内理事長はじめ同窓会幹部の先輩方々にも多大なるご支援を賜りまして心より感謝申し上げます。本当に有り難う御座いました。

開催日時：7月18日(木)

開催場所：グローブゴルフクラブ

参加人数：13名



同窓会青年部設立記念 第1回ゴルフコンペ参加者

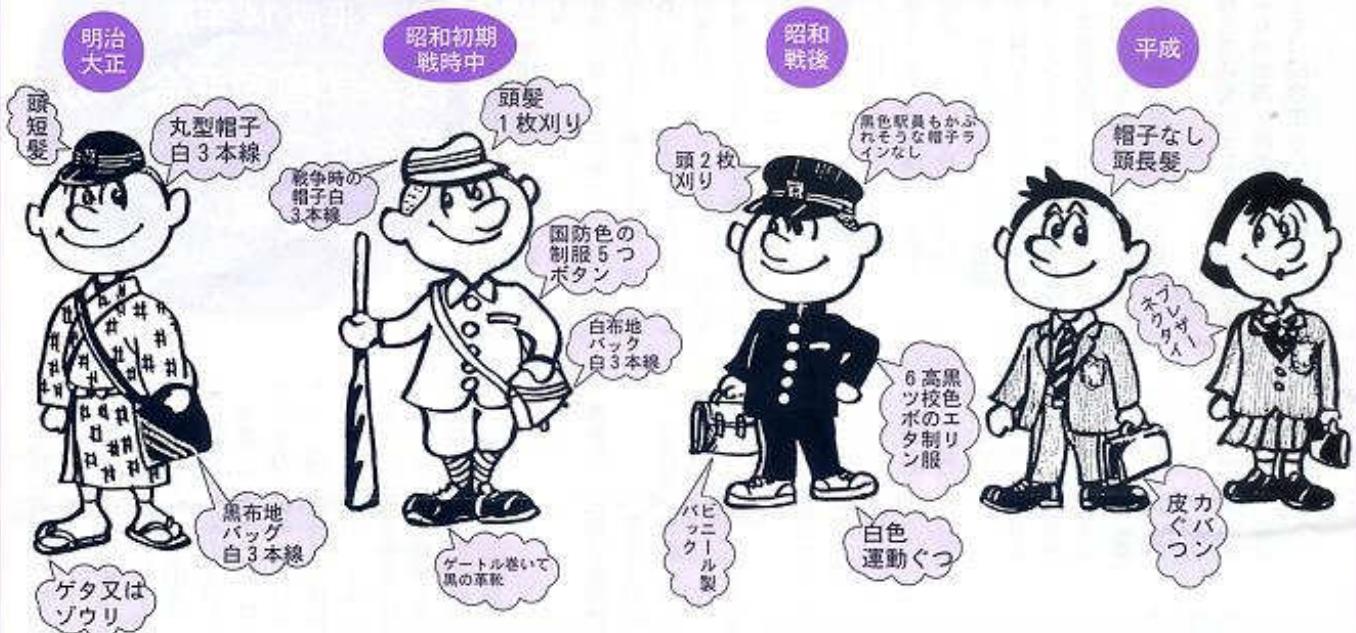
表される様な大先輩に混じってプレーさせて頂き、最初は緊張の連続で不安なスタートでしたが、とてもざっくばらんにその場を和ませて頂き、学園の歴史や大先輩の人生経験など、とても勉強になるお話をたくさん教えて頂き、とても有意義な1日を過ごす事が出来ました。この様な素晴らしい心に残る体験を一人でも多くの卒業生の皆様に伝えて行ける様、第2回、第3回と続けて行ける様頑張って参ります。

青年部 北村勝行
(昭和60年卒)

《平成14年度 同窓会青年部 行事・活動予定》

1月	役員会 (19日・土) PM2:00~PM4:00 学校
2月	役員会 (16日・土) PM2:00~PM4:00 学校
	委嘱状伝達式 (21日・木) 時間未定~ 学校
3月	役員会 (16日・土) PM2:00~PM4:00 学校
4月	役員会 (20日・土) PM2:00~PM4:00 学校
5月	青年部歓迎会 (11日・土) PM1:00 学校 後に懇親会 御用うどん
6月	役員会 (15日・土) PM2:00~PM4:00 学校
	青年部設立記念第2回ゴルフコンペ (中旬創立記念日前後 場所未定)
7月	役員会 (20日・土) PM2:00~PM4:00 学校
8月	キャンプ&BBQ&花火大会 (24日(土)・25日(日)) 場所未定
9月	役員会 (21日・土) PM2:00~PM4:00 学校
10月	役員会 (19日・土) PM2:00~PM4:00 学校
	青年部秋季懇親会 (26日・土) 総会PM1:00より 懇親会PM2:00より 学校
11月	役員会 (16日・土) PM2:00~PM4:00 学校
12月	役員会 (14日・土) PM2:00~PM4:00 学校
※諸行事に参加ご希望の方には案内状を送付させて頂きますので下記宛お申込み下さい。 FAX・葉書にて卒業期・年度と住所・ご貴名・TEL等ご記入の上ご送付下さいましたら案内状を送付させて頂きます。	
宛先 〒558-0003 大阪市住吉区長居1-4-15 大阪学芸中学校・高等学校 成器学園同窓会青年部 TEL 06-6693-6301 FAX 06-6693-5173	
※やむをえない事情により日程を変更することもあります。	

制服・制帽の移り変わり



平成 14 年度の年間行事のご案内

同窓会では、次の通り平成十四年度の年間行事を開催致します。振ってご参加下さい。

● 定期総会（毎年五月の第三土曜日）

五月十八日(土)二時～於 本校会議室
懇親会（総会終了後開催）

五月十八日(土)四時～於 長居パークホテル

● 天神祭観覧会

七月二十五日(木)六時～於 キャッスルホテル錦城閣

● 高野山普賢院一泊と高野模の湯温泉旅行

八月三日(土)～四日(日)

● 秋季懇親会

十一月十六日(土)六時～於 ニューミュンヘン大使館

● 忘年会

十二月二十一日(土)五時～場所未定

※諸行事に参加ご希望の方には案内状を送付させていただきますので、左記宛お申込み下さい。

FAX・葉書にて卒業期・年度と住所・ご貴名・TEL等ご記入の上、ご送付下さい。
いましたら、案内状を送付させていただきます。

宛先 〒558-0003 大阪市住吉区長居一丁目十五

大阪学芸高等学校・中学校

成 器 学 園 同 窓 会

TEL〇六一六六九三一六三〇一
FAX〇六一六六九三一五一七三

※やむをえない事情により日程・場所を変更することもあります。

温かいご寄付に感謝

寄付金応募者、芳名録

成善学園同窓会・募金事業へのご支援を本会報を通じて、同窓生の皆様にお願いいたしましたところ多数の皆様から温かいご寄付を頂戴いたしております。

ここに「芳名を掲げ深く感謝の意を表します。

◎平成十三年一月一日以降平成十三年三月三十一日までの受付分(到着順)

寄付者 百十六名

金額 九十三万一千円

飯田八郎様(昭和廿八年卒)堺

平野 庄一様(昭和廿八年卒)堺

田村 尚貴様(平成十二年卒)東北

松田 和人様(昭和廿九年卒)和泉

吉田 一男様(昭和廿八年卒)大阪市西成区

井上 佐治朗様(昭和廿八年卒)堺

小原 泰次様(昭和廿八年卒)高石市

小西 勇様(昭和廿九年卒)枚方市

吉田 一男様(昭和廿八年卒)大阪市西成区

井上 佐治朗様(昭和廿八年卒)高石市

田中 弘義様(昭和廿二年卒)大阪市阿倍野区

平野 尤二様(昭和廿四年卒)大阪市鶴見区

栗原 雄義様(昭和十九年卒)堺

川 市

菜 菜一郎様(昭和廿一年卒)大阪市住之江区

山下 豊様(平成六年卒)堺

中谷 中菊様(昭和十一年卒)新

木村 佐喜太様(昭和十一年卒)奈良市

友田 博文様(昭和十一年卒)和泉市

落合 直行様(昭和廿七年卒)泉南市

北風 美雄様(昭和十七年卒)堺

吉田 末廣様(昭和十五年卒)大阪市住之江区

松内 光二様(昭和廿八年卒)神戸市

安田 正亮様(昭和二十一年卒)大阪市住之江区

浅野 亮様(昭和廿九年卒)大阪狭山市

宮内 信之様(昭和廿八年卒)泉佐野市

森田 弘光様(昭和廿八年卒)京田辺市

井内 博昌様(昭和廿五年卒)松原市

青戸 審兒様(平成九年卒)高石市

竹内 秀勝様(昭和廿八年卒)浜本市

畠山 明穂様(昭和廿八年卒)大阪市住吉区

中村 凡夫様(昭和廿八年卒)東京都杉並区

和田 一様(昭和三十一年卒)横浜市

竹内 一様(昭和三十一年卒)横浜市

和田 貞夫様(昭和廿八年卒)堺

田中 喬二郎様(昭和廿七年卒)奈良市

田中 喬二郎様(昭和廿八年卒)奈良市

田中 敏文様(昭和廿八年卒)堺

前川 元治様(昭和廿八年卒)泉北郡

三浦 宏之様(平成十年卒)奈良市

和田 真夫様(昭和廿八年卒)堺

田中 喬二郎様(昭和廿七年卒)奈良市

田中 喬二郎様(昭和廿八年卒)奈良市

北村 浩之様(昭和廿一年卒)堺市

佐藤 幸太様(昭和九年卒)堺市

西田 豊雄様(昭和廿八年卒)和泉市

中津 嘉樹様(昭和廿八年卒)茨城県

市島 良造様(昭和廿八年卒)大阪市中央区

新山 芳穂様(昭和廿八年卒)石狩市

河守 武十様(昭和廿八年卒)大阪市住吉区

金 勝雄様(昭和廿八年卒)大阪市東淀川区

森下 正吉様(昭和廿八年卒)大阪市平野区

大野木 実様(昭和廿九年卒)東京都世田谷区

佐々木正博様(昭和廿八年卒)泉大津市

平野 實様(昭和廿八年卒)大阪市城東区

岸野 輝三様(昭和廿八年卒)岡山市

伊丹 啓次様(昭和廿八年卒)豊中市

和泉久 慶次様(平成九年卒)和泉市

大矢 降史優様(昭和廿八年卒)大阪市住吉区

伊丹 啓次様(天正月年卒)豊中市

足立 好一様(昭和廿八年卒)大阪市浪速区

河地 康之様(平成九年卒)大阪市港区

藤田 光輝様(昭和廿八年卒)神戸市

佐藤 由之様(昭和廿八年卒)大阪市住吉区

福永 勝様(昭和廿八年卒)大阪市中央区

塙田 好一様(昭和廿八年卒)大阪市中央区

北村 哲男様(昭和廿八年卒)尼崎市

坂田 実様(昭和廿八年卒)堺市

北村 哲次様(昭和廿八年卒)堺市

市 竹本 富時様(昭和廿八年卒)大阪市住之江区

市 竹本 富時様(昭和廿八年卒)大阪市住吉区

市 竹本 富時様(昭和廿八年卒)大阪市住吉区

市 竹本 富時様(昭和廿八年卒)大阪市住吉区

市 竹本 富時様(昭和廿八年卒)大阪市住吉区

西田 豊雄様(昭和廿八年卒)和泉市

安藤泰次郎様(昭和廿八年卒)豊中市

金 勝雄様(昭和廿八年卒)大阪市東淀川区

森下 正吉様(昭和廿八年卒)大阪市平野区

大野木 実様(昭和廿九年卒)東京都世田谷区

佐々木正博様(昭和廿八年卒)泉大津市

平野 實様(昭和廿八年卒)大阪市城東区

岸野 輝三様(昭和廿八年卒)岡山市

伊丹 啓次様(昭和廿八年卒)豊中市

和泉久 慶次様(平成九年卒)和泉市

大矢 降史優様(昭和廿八年卒)大阪市住吉区

伊丹 啓次様(天正月年卒)豊中市

足立 好一様(昭和廿八年卒)大阪市浪速区

河地 康之様(平成九年卒)大阪市港区

藤田 光輝様(昭和廿八年卒)神戸市

佐藤 由之様(昭和廿八年卒)大阪市住吉区

福永 勝様(昭和廿八年卒)大阪市中央区

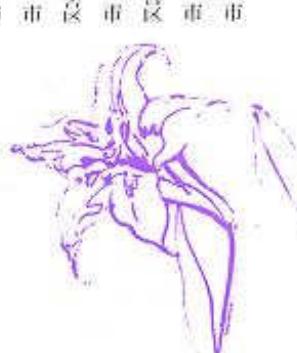
塙田 好一様(昭和廿八年卒)大阪市中央区

北村 哲次様(昭和廿八年卒)堺市

坂田 実様(昭和廿八年卒)堺市

北村 哲次様(昭和廿八年卒)堺市

市 竹本 富時様(昭和廿八年卒)大阪市住吉区



平成十二年度 決算報告

平成12年度 収支決算書

(自 平成12年4月1日～至 平成13年3月31日)

单位：m

収入の部				単位：円
科 目	決 算 額	予 算 額	対予算比率%	備 考
会 費	2,418,000	1,850,000	568,000	定期会員会費 @7,200×55名 1113 年高校卒業生@5,000×321名、1112 年中学卒業生 @2,000×116名、1111 年中学卒業生@2,000×97名
特 别 年 会 費	868,000	2,000,000	▲ 1,132,000	@2,000×112名×434名
会員料金(収入)	1,218,000	0	1,218,000	146 名
正 告 料 収 入	360,000	360,000	0	会員料 2コマ×3万円
受 預 利 息	13,960	1,000	12,960	定期預金利息 - 普通の金利息
預 収 入	10,386	10,000	386	名簿代 2回分 9,500円、学級費全支 896円
特別会計剰余金	327,897	100,000	227,897	教育会剰余金 138,210円、高野山旅行費全金 5,569円、秋季 懇親会剰余金 182,618円、新年会剰余金 1,500円
収 入 計	5,216,233	4,321,000	885,233	
販 割 弊 金 全	11,968,701	11,968,701	0	
合 计	17,184,934	16,289,701	895,233	

支出の部 営業外収益(損失) 1,000円(△) 営業外費用(収益) 1,000円(△)

目 的	決 算 額	予 算 額	対予算比増減額	備 考
会 費	471,310	300,000	271,310	理会懇親会費、会場費、記念品代、会費
設 施 費	0	50,000	▲50,000	
運 送 費	137,560	350,000	▲212,440	現金、賃別
印 刷 費	1,981,018	2,000,000	▲18,982	理事会報『玄元』印刷費、各行事室用印刷
通 信 費	1,345,150	1,500,000	▲155,250	理事会用 15,342 郵便料、各種会議室内、現金預取郵便料
旅 行 費	70,000	0	70,000	空手道部・吹奏楽部遠隔競賽会 支那見、名刺、札幌
消 耗 品 費	32,722	30,000	2,722	
事 務 費	0	360,000	▲360,000	
寄 贈 費	190,000	360,000	▲170,000	体育委員会、空手道部、吹奏楽部、パレードへの活動奨励金 卒業証書用丸封、退職慰労品記念品、新年度幹事委嘱記念品
会 員 品 費	101,716	300,000	▲195,284	員会会費の引当郵便料、銀行預込手数料、城高明正手料
支 払 手 数 料	33,818	0	33,818	
旅 費 交 通 費	41,820	100,000	▲58,180	関東支部会出席の往復交通費、秋季選手権会川口選好交通費（アリーナ）
租 借 費	98,348	56,000	42,348	会報表紙タグイン料・諸会合写真費用（ツイルム・DPE）・マゼー
予 備 費	0	100,000	▲100,000	
支 出 計	3,547,462	5,346,650	▲1,799,188	
次 期 預 金	12,635,472	10,919,701	1,685,771	
合 計	17,182,934	16,289,701	895,233	

算定日時 平成13年3月31日現在

4. 基本財產增減類

I 基本財産（会員登録による資金残高）				平成 12 年 3 月 31 日現在の基本財産残高
項目	平成 12 年度	平成 11 年度	前年比増減	
普通預金（近畿大阪銀行西田辺支店）	686,298	3,184,340	▲ 2,498,052	
定期預金（近畿大阪銀行西田辺支店）	5,642,581	5,681,545	-16,968	
預託預販（長崎内閣銀行頭取・募金口）	1,167,510	311,100	856,410	
計	7,495,179	9,126,985	▲ 1,630,804	

II. 普通財産（被捐残高）				平成 12 年 3 月 31 日現在の基本財産残高
項目	平成 12 年度	平成 11 年度	前年比増減	
手元現金（会計）	314,896	21,166	193,730	
手元現金（大正 41 会長）	237,420	81,338	202,182	
普通預金（さくら銀行西田辺支店）	3,930,957	2,605,914	1,325,043	
預託預販（長崎内閣銀行頭取・募金口）	758,320	180,200	578,120	
計	5,114,233	2,841,718	2,299,515	

曾 借 對 照 表

平成12年3月31日現在

資産の部		基金の部	
科目	金額	科目	金額
現金	452,016	前期繰越剰余金	11,968,701
普通預金	4,617,245	当期剰余金	668,771
郵便振替	1,925,830		
定期預金	5,642,381		
資産合計	12,637,472	基金合計	12,637,472

剩餘金分配計算書

那成 13 年 5 月 19 日

项 目	金 额
1. 当期末摊余余额	12,637,472
2. 剩余金额分部	
(1) 基金申购额	7,500,000
(2) 次期跃越剩余金	5,137,472

募集资金業納入狀況

平成 12 年度		平成 11 年度		前年比増減	
区分	募金者数	募金額	募金者数	募金額	募金者数
平成 11 年度分	1 名	10,000			
平成 12 年度分	30 名	257,000			
平成 13 年度分	115 名	931,000			
計	146 名	1,218,000	185 名	1,418,500	▲ 39 名 ▲ 200,500

特別年会費納入状況

平成 12 年度		平成 11 年度		前年比増減	
区分	納入者数	納入額	納入者数	納入額	納入者数
平成 11 年度分	4 名	8,000			
平成 12 年度分	61 名	122,000			
平成 13 年度分	369 名	738,000			
計	434 名	868,000	558 名	1,116,000	▲124 名 ▲248,000

―― お願い――

現在学園の百周年誌を編集しておりますが、卒業生の方で貴重な資料等をお持ちの方は当委員会までご連絡下さい。

百周年記念誌編集委員会

同窓生各位

成器学園同窓会

会長 和田貞夫

年会費納入についてのお願い

同窓会活動を活発化するためにはまづ同窓会財政を充実することにあると思います。また同窓会々報「学芸」の継続発行は欠かすことが出来ない要件です。同窓会の年間最高の負担経費は「会報発行費」(印刷費と発送費)ではないかと思います。

ところが毎年学園側から交付される新卒生の「同窓会入会金」(毎年高校3年の在校生が卒業時に同窓会入会金として学園に納付し、年度末に学園から同窓会へ交付されるもの)は少子化時代に入った現在、年々減少しているのが現状です。そのために実は5年前から同窓会有志に特別年会費として年2,000円をご負担していただいていましたが、財政事情を克服するために昨年の定期総会で「特別年会費」を「年会費」に改め、年3,000円のご負担をお願いすることになりました。

経済事情が好ましくない、しかも経費多担の折り、誠に恐縮ではございますが、事情ご賢察の上同窓会を維持して行くためにも是非ご協力の程お願い申し上げます。

お蔭をもちまして「年会費制度」を発足させ、みなさんのご協力を戴きました結果「財政基盤」も漸く整いつつありますが、必ずしも「年会費」の納入状況は芳しくありません。こゝ数年の「年会費」納入状況は次の通りです。

年会費納入状況

年 度	納入者	受入金額
平成9年度 (平9/4/1~ 10/3/31)	825名	1,650,000円
平成10年度 (平10/4/1~ 11/3/31)	573名	1,146,000円
平成11年度 (平11/4/1~ 11/12/31)	83名	166,000円
平成12年度 (平12/1/1~ 12/12/31)	533名	1,066,000円
平成13年度 (平13/1/1~ 13/12/31)	446名	892,000円

来る平成15年(2003年)には母校創立100周年を迎えます。「百周年 未来へ翔る大阪学芸」のキャッチフレーズを掲げ、学園では多彩な記念行事を計画しつつあります。記念事業の一環として昨年7月10日には本校南隣に「スポーツコート」(駐輪施設も併置)が完成しました。「教育管理ランシステム設備」「就学援助制度への助成金」等も検討されつつあります。学園の下支えの役割を果す卒業生が同窓会に力を結集し、100周年記念事業を成功させようではありませんか。同窓諸氏のご支援ご協力を心からお願い申上げます。

「年会費」とは別途「同窓会募金事業」にも引き続きご協力賜りますよう併せてお願い申し上げます。つきましては会報と同封しております「払込取扱票」にて「年会費」及び「募金事業」の払込み方よろしくお願い致します。

なお勝手ながら郵便局受領証をもって同窓会領収証に替えさせていただきます。

来年は百周年の
記念号になりますので広告掲載
のご協力宜しく
お願い致します。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○
SUZU PACK は
包装のバイオニアです。
食品、薬品、工業品、その他。
株式会社 **スズパック**
TEL (06) 6536-4477 FAX (06) 6536-4433
高校18期・昭和41年卒業 松田和人
(大阪学芸評議員)
○○○○○○○○○○○○○○○○○○

美術印刷・紙器製品
企画・提案・製作
株式会社 **ヒラックス**
代表取締役 上野寅次郎
(大阪学芸理事・高校9期・昭和32年卒業)
〒542-0062 大阪市中央区上本町西5-2-8
TEL (06) 6768-9551 FAX (06) 6768-9555

鉄・ステンレス・パイプ
切断専門
西野パイプ株式会社
代表取締役 西野仁彦
(大阪学芸監事・高校11期・昭和34年卒業)
本社 大阪市東住吉区裏中1丁目13-24
〒546-0014 TEL (06) 6696-3835
工場 堺市常磐町3-111-8
〒591-8001 TEL (072) 255-0803
FAX (072) 255-0804

